

第2章 第二次計画の取り組み状況と課題

1. 基本目標、施策ごとの取り組み

第三次計画策定にあたっては、第二次計画での取り組み状況を確認しました。
主な取り組み状況は次のとおりです。

詳細は「資料編1. データ(1) 第二次計画の取り組み実績(施策別)」を参照してください。

第二次計画 主な取り組み

基本目標Ⅰ 本の楽しさを子どもたちに ～本に親しむ機会の充実～

1 本の情報提供

- ・市立図書館では、絵本かたりかけ事業（健康センターでの3～4ヶ月健診時に保護者に読み聞かせの大切さを紹介し、絵本を配付する事業）、イベント、学校を通じてブックリストの配付を行った。
- ・小中学校においては、各校の図書館だよりやブックリスト等により情報提供を行っている。

2 市立図書館・学校図書館のPR、利用指導

- ・小学校2年生を対象とした市立図書館への訪問を継続し、各学校においては、学校図書館利用のためのオリエンテーションを実施している。
- ・平成28年度からは市立図書館と特別支援学校との連携を開始した。

3 おはなし会の充実

- ・市立図書館におけるおはなし会の開催日等の見直しを行っている。
- ・市立図書館以外を会場とする「図書館 おはなしの広場」を、平成26年度から開始した。
- ・小中学校においては、朝読書、読み聞かせ、ブックトーク等を実施している。
- ・平成26年度から多摩市立子育て総合センターにおいてボランティアによる定例のおはなし会の開催を始めた。

4 イベントの充実・体験の場の提供

- ・市立図書館が開催する、子ども読書まつり《ほんともフェスタ》の展示を平成26年度からグリナード永山で開催し、来場者数が増加した。(各小中学校の学校図書館の紹介)
- ・夏休みに、市立図書館全館で、主に小学生を対象とした「一日図書館員」を開始した。

5 保護者への働きかけ

- ・乳幼児の保護者向けの読書手帳「絵本のきろく」の作成、配付開始
- ・健康センターの健診会場に絵本を設置(パパママ学級、3歳児健診)
- ・小中学校では「図書館だより」の活用、親子読書の推進等

第二次計画 主な取り組み

基本目標Ⅱ いつでもどこでも本はともだち

～読書環境の整備と充実～

6 蔵書の充実

- ・児童、生徒向け新聞の所蔵開始(各1館)、多摩市立図書館おすすめの絵本、調べ学習用図書の買い替え推進、マルチメディアデジタイズ受け入れ開始

7 読書コーナーの設置・充実

- ・本庁2階授乳コーナーに絵本、リストを設置し、来庁者へのPRを開始。永山図書館のティーンズコーナーのリニューアル
- ・多摩市立子育て総合センター内の出張ひろば等に、絵本コーナーを設置

8 学校図書館の調べ学習・読書・おはなし会の環境整備

- ・小学校、中学校ともに、居心地のよい環境づくりに向けて、配架や机等の配置の改善、分類表示や展示等の工夫が進んでいる。中学校では、調べ学習のために多摩市の郷土資料を整備し登録をした。
- ・各校の建て替えや大規模修繕では、学校図書館のリニューアルが進んでいる。

- 9 児童サービス担当・ティーンズサービス担当の全館配置
- ・各館において担当者を増やしたり、赤ちゃんおはなし会の担当者の設置等を行うなど体制強化に努めたが、児童サービス担当とティーンズ担当の各々について全館配置は実施できなかった。
- 10 学校図書館司書による読書活動の効果的推進
- ・小学校では読書ノートの活用や「図書の日」における学校図書館司書による読み聞かせ、本の紹介等を積極的に行っている。
 - ・中学校では合理的配慮が必要な生徒や特別支援学級への働きかけを適宜行っている。

第二次計画 主な取り組み

基本目標Ⅲ みんなでつながり育てあう

～人材の育成、関係機関等との協力・連携～

- 11 職員の育成・研修体制の整備・情報交換
- ・市立図書館職員の研修として「読み聞かせ講座」の実施、外部研修への参加を行っている。
 - ・小中学校では各種研修会へ参加し、そこで得た情報を活用している。また教育指導課では、学校図書館研修において外部講師を招くなど充実に努めている。
- 12 ボランティアの育成
- ・市立図書館主催講座「はじめてのよみきかせ」の開催時期の改善、回数の充実
 - ・ボランティア養成講座修了者が、図書館でおはなし会を開催するにあたっての支援
- 13 相互連携の継続
- ・都立図書館主催及び他団体主催の研修への市立図書館職員の派遣

1.4 ネットワークづくり・人材と組織を結ぶコーディネート

- 子ども読書まつり《ほんともフェスタ》では市立図書館、学校、地域及び学校のおはなし会ボランティア、市内大学の学生等が協力し、各種イベントを開催した。
- 小学校では、保護者及び地域のボランティアが読み聞かせ等に参加し活動を行っている。
- 市立図書館の情報を、子育て支援情報として提供開始。（「地域子育て支援拠点だより わくわく通信」等）

1.5 司書教諭等・学校図書館司書・担任との連携

- 小学校では、課題づくりに応じた資料の提供や、辞典等の使い方の実施等で連携を行っている。また小中学校ともに読書週間や委員会活動での連携は活発である。
- 教育指導課主催の学校図書館研修時に、連携について協議した。

2. 第三次計画策定に向けての課題

第二次計画の取り組み状況については前掲1. から、おおむね推進ができていますと考えます。

しかしながら、第一次、第二次計画から継続している課題、第二次計画期間中の取り組み状況が十分ではなかった事項があります。

第三次計画策定に向けての課題（1）

第一次、第二次計画から継続している課題

- ① 私立保育園・幼稚園への働きかけ
- ② 配慮が必要な子どもへの支援
- ③ 10代の子ども向けサービス

第三次計画策定に向けての課題（２）

第二次計画期間中の取り組み状況が十分ではなかった主な事項
（前掲（１）に該当する事項を除く）

- ①多摩市立図書館発行のブックリストの改訂、ホームページの充実
- ②市立図書館とその資料の利用指導
- ③「子ども読書まつり」等のあり方の検討
- ④保護者向け講座の実施、充実
- ⑤関係課と連携しての各施設の蔵書の充実
- ⑥蔵書の効果的な活用に向けて、市立図書館と学校図書館及び学校図書館間の資料等の流通についての工夫
- ⑦児童サービス担当と別にティーンズ担当を配置し、より専門的な相談に応じる。
- ⑧団体貸出の充実、学校図書館及び学校図書館司書への支援
- ⑨図書館職員が研修・講座に参加できる体制整備、研修体制の充実
- ⑩専門的知識・技術の職員間での継承
- ⑪学校図書館司書間の情報交換の場の充実
- ⑫関係課と連携してボランティアを養成する講座を開催
- ⑬子育て、児童福祉の視点からの支援